

| | |
|---------------|---|
| Title | 語文 第106-107輯 編集後記/奥付 |
| Author(s) | |
| Citation | 語文. 106-107 |
| Issue Date | 2017-02-28 |
| oaire:version | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/70999 |
| rights | |
| Note | |

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

編集後記

今号の「語文」は、出原隆俊先生のご退職を記念して、近代文学特集としてお届けします。透谷・鷗外・一葉・漱石といった作家を中心に、日本近現代文学を幅広く論じ、講じられた先生にふさわしく、明治二〇年代から昭和の戦後にいたるまで、幅広い論考を並べることができたかと存じます。出原先生にご指導を受けた学生・院生を代表して、ここにあらためて、御学恩への深い感謝を記させていただきます。

また、三月に刊行される「阪大近代文学研究」第一四・一五合併号にも、出原先生のご退職を記念して、教えを受けた者たちが多くの論考を寄せています。ぜひそちらもご覧いただければと存じます。

研究室としてはこの間、矢田勉先生と、合山林太郎先生が異動されました。大変淋しく残念ですが、大阪大学国語国文学会の縁が全国に広がってゆくことには、プラスの面も必ずあるはずです。両先生のご研究のますますのご発展をお祈りします。

また、勢田道生先生と、山本嘉孝先生が新たに着任されました。お二人とも早速、研究室に清新な風をもたらしてくださっています。

人は交代し、学問を取り巻く状況も変わりつつあります。新しいものを前向きに受け入れつつも、変えるべきではないものは、今後もしっかりと大事にしていきたいと思っています。

(斎藤)

語文 第百六・百七輯

平成二十九(二〇一七)年二月二十五日 印刷
平成二十九(二〇一七)年二月二十八日 発行

編集・
発行者

大阪大学国語国文学会

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町一―五

大阪大学大学院文学研究科

日本文学・国語学研究室

代表 出原隆俊

振替口座〇〇九四〇―四―二四六四一

電話 〇六―六八五〇―五一一一

印刷 亜細亜印刷株式会社